



応援します! 生きる力
正します! 税の使い方

国分寺市議会議員 無所属
みな がわ

皆川りうこ

ニュース
レター

議会報告

72号

2017年7月発行

発行: 皆川りうこの会 "Let's" 国分寺市東恋ヶ窪6-7-31

2015年の統一地方選挙にて6期目の当選を果たし、早いもので2年、折り返しの年となります。

この間は公約していた課題の一つ一つを一般質問、常任委員会、特別委員会等に取り上げ、質問・提案して来ました。

一般質問通告内容 (一部抜粋)

2015年

- *男女平等推進行動計画 (DV防止基本計画、セクシャルマイノリティの人権等)
- *ごみ減量について
- *市政運営 (予算、人事・組織、行政評価、窓口対応、接遇、ハラスメント防止、職員研修)
- *持続可能な地域社会づくり (公民館を軸として地域福祉)
- *福祉行政 (介護保険制度、高次脳機能障害、障害者差別解消対応要領、地域福祉、社会福祉法人改革)
- *いのち支える自殺防止対策 (生活困窮者と自立支援制度等)

2016年

- *市政運営 (予算、人事・組織、各種ハラスメント防止、ストレスチェック、再任用制度、事務引継ぎ等)
- *男女平等推進計画 (たがいの性の尊重と健康支援、男女平等意識の醸成等)
- *自治基本条例 (市民参加・情報公開)
- *福祉行政 (介護保険制度・障害者差別解消法施行に伴う市の対応、合理的配慮等)
- *子ども・子育て、教育 (子どもの居場所等環境整備、インクルーシブ教育等)
- *選挙制度について
- *生活困窮や自立支援制度
- *街路樹の整備について

2017年

- *地域福祉 (引きこもり、自殺防止対策等)
- *改正介護保険制度
- *いきいき農園事業
- *性別に起因する暴力や人権侵害の根絶
- *人材育成実施計画
- *東日本大震災による避難者支援

● 残りの任期においても
行政のチェック・監視機関
として、そして政策提案を
して行きます。

議会人事

国分寺市議会では、4年の任期中、2年ごとに議会人事を行います。

皆川りうこは、後半の2年間で常任委員会である建設環境委員長として務めることとなりました。合わせて、三多摩上下水及び道路建設促進協議会の第三委員会(道路)委員、三鷹・立川間立体化複々線促進協議会の委員を担当します。また、特別委員会では、公共施設整備等特別委員会委員、国分寺政策市民フォーラム会派においては代表を務めます。

議会改革の一環として議長の木村議員が会派を離れたことにより、会派は及川議員、伊達議員、星議員、皆川の四人となりました。

お金について報告します。

平成28年度政務活動費報告

収入	政務活動費	240,000円
支出	研修費	161,885円
	調査視察費	74,948円
	資料購入費	26,976円
	その他の経費	257円
	合計	264,066円
	差引残高	0円

皆川りうこの会 "Let's"

(H26年1月1日~12月31日)

収入総額	1,065,660円
支出	政治活動費合計 889,511円
	(機関紙発行) 858,083円
	(宣伝事業費) 31,428円
翌年への繰越し額	176,149円

様々な国分寺市の説明会、懇談会、検討委員会等傍聴、参加して

■6月に、新庁舎建設に関する懇談会が5回あり、うち2か所に参加しました。市では2011年に一旦廃止した、庁舎基金条例を昨年の9月に再度提案し全員賛成で庁舎基金条例が設置されました。これを機に改めて市は、庁舎について市民の皆さんのご意見を聞く場を設けたのです。場所の問題や機能はもちろんです。建設費は将来の市民負担になるもので、慎重で十分な検討や議論が必要です。しかし、どちらの会場も参加者が少なかったのは残念です。

今後、市は市民参加の機会を増やしてより多くの意見が反映されるよう工夫し、取り組むべきです。

■市民参加の手法の一つ、ワークショップは、市の計画づくり等多くの場面で取り入れられています。互いの意見を否定しない、一人だけ集中して意見を言わない等の簡単なルールがあり、話しやすい状況を作ります。

私自身もジャンルを問わず、出来る限り参加するようにしています。決して誘導したり、否定することなく、立場をわきまえ(?) 楽しく参加するようにしています。時として職員も参加するのですが、同様な視点は必要です。

国分寺市高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画策定委員会 (5月31日)、第2回介護保険運営協議会 (6月20日)

上記策定委員会、運営協議会ともに、先に実施された介護保険、高齢者保健福祉計画に関するアンケートに関して議論がなされていました。議会では予算特別委員会にてアンケートの内容、回収に関して多くの議論がなされたものです。アンケートそのものは、介護保険施設利用者、家族、介護職員向け、介護支援専門員等と対象者別となっています。それぞれの集計結果はまだ未定稿とはいえ報告がなされ、各々の会では多くの視点からの意見が交わされていました。2つの会を傍聴して、委員の皆さんのご意見等、皆川のメモより一部抜粋して紹介します。

専門性、スキル

・ケアマネジメントの質、医療、保健(病気、症状)に関して知識の向上が必要

人材確保、離職

- ・人材の確保の問題、職場のコミュニケーション?
- ・離職者防止のためとして、処遇改善がなされたが定着につながらない、177人中126人も離職の実態
- ・そもそも福祉職は他の職業に比べて給料が低い

・国分寺市だけ、一つの事業所だけの問題ではない

福祉だけでは限界

- ・構造面と意識の両面も考えることが大事
- ・働く意欲があっても保育の問題あり
- ・施設に面会に行こうとしても仕事に支障が起きる

多職種連携

・個人情報の関係もあり、ケアマネと直接連携することはない。地域包括支援センターと民生委員とは連携がなされている。

改正介護保険制度

・要介護3以上で特養入所だ。入所できない軽度の人にはサービス付き高齢者向け住宅(賃貸借住宅)が受け皿になっている。介護の面は大丈夫なのか?

どれもが現場からのリアルな声であり重要な視点ばかりです。国分寺市として何をすべきか、何ができるか?市の施策を検証する必要があるとともに、今後も現場の声をしっかり聴くことが大事であると思いました。

WELCOMEサロン

議会報告、お茶を飲みながらフリートーク

8月22日(火)

午前 10:00~12:00
午後 2:00~4:00

場所/山彦荘

皆川りうこの会 "Let's" 伝言板

皆川りうこの会 Let'sでは、国分寺市のまちづくりを市民のみなさんとともに考え進めたいと思います。

①日頃の市政に対するご意見等お聞かせください。また、議会報告も行っています。

②皆川りうこの会 Let's 参加者募集中

【会費】 一口 1000円
*郵便振替 □座番号 00160-9-614301
□座名義 「皆川りうこの会Let's」

皆川りうこプロフィール

1957年 岩手県北上市で生まれる

1995年 国分寺市議会議員初当選、'99年二期目当選、'03年三期目当選(厚生委員長、文教委員長、青少年問題協議会、民生委員推薦会等歴任)

2007年 四期目に挑戦するも惜敗、同年、子どものシェルターのスタッフとして勤務

2008年 跡見学園女子大学、三年編入学(文学部 臨床心理学科)

2009年 国分寺市議補選にて再選

2010年 跡見学園女子大学 卒業

2011年 五期目当選(ごみ対策特別委員長、土地開発公社監事、予算特別委員長、副議長等)

2015年 六期目当選 監査委員

(所属会員) 自殺対策支援センターライフリンク、自治体学会、日本子ども虐待防止学会、ごみ環境ビジョン21、全国フェミニスト議員連盟 他